



丹那小だより

函南町立丹那小学校
令和4年3月発行
第11号

令和3年度の締めくくりを！！

校長 植松 研吾

3月2日に、最終ミッションの「ありがとうの会」を盛大に行いました。6年生に一年間の感謝の気持ちを伝えるため、5年生が在校生のリーダーとなって下級生をフォローし、心温まる素敵な会を創り上げ、スローガン「笑顔あふれる 感謝の気持ち」を達成することができました。「ありがとう」の言葉に包まれた会場、笑顔いっぱいの6年生、そして大成功を喜ぶ1～5年生の笑顔に感動しました。

大きな仕事をやり遂げた5年生一人一人が、「6年生に進級するぞ！」「丹那小のリーダーになるぞ！」「今年の6年生に負けないぞ！」という強い気持ちをもったことと思います。4月からの最上級生としての活躍が今からとても楽しみです。

さて、本年度も残り一か月足らずとなりました。学校では、18日に行われる「第75回卒業証書授与式」に向けて着々と準備を進めております。私は学校長式辞を作成している真っ最中ですが、昨年度の式辞の中で卒業生への餞(はなむけ)の言葉として次のような話をしました。(抜粋)

皆さんは、「丹那」という地名の由来を知っていますか。いろいろな説があるようですが、その中に「谷野(たにの)」から「丹那(たんな)」になったという説があります。「谷野」は「谷が野原のように長く続いている、連なる谷」という意味です。確かに、丹那地区には山もあれば、多くの谷もありますね。

では、「丹」と「那」には、どんな意味があるのでしょうか。「丹」には「真心(嘘や偽りのない心)」、「那」には「穏やかなこと」という意味があります。

山を越えるのは大変なことですが、谷を越える方がより危険を伴います。つまり、「谷野」には「困難や逆境に立ち向かいなさい」という願いがあり、「丹那」には「真心を込めて行動し、穏やかに生活しなさい」という願いがあるように思います。(中略)

皆さんが丹那小学校のために全力を尽くした姿は先ほどお話しした二つの願いにつながる姿だったのではないのでしょうか。

本年度も昨年度と同様に、「丹那地区」に関係の深い言葉について話をしたいと考えております。6年生との二年間の学校生活を振り返りながら、八名の卒業生に相応しい言葉を思案中ですが、短くて分かりやすい言葉を贈りたいと思っています。

本校の卒業証書授与式に出席する在校生は、1～5年生全員です。これも、小規模校のよさですね。在校生からの温かい言葉と卒業生の明るい笑顔を期待しております。

最後になりましたが、本年度の教育活動への保護者・地域の皆様の御理解と御協力に対しまして深く感謝申し上げます。本当にありがとうございました。来年度も、どうぞよろしく願い申し上げます。



Final mission 「ありがとうの会」 ～感謝の気持ちとエールを届けました～



3年生「6年生にチャレンジ」



5年生「会の運営とスライド」



6年生「図書カード入れプレゼント」



1年生「ありがとうダンス」



2年生「ナゾトレでメッセージ」



4年生「6年生との思い出劇」



1年生と手をつないで入場



みんなでアーチを作って退場

全校のみなんで6年生に感謝の気持ちとエールを送ることができました。どの学年も工夫を凝らした出し物を披露し、心温まる会になりました。それだけ6年生の頑張りや下級生たちに届いた一年間だったのだと思います。

CS オール丹那会議より ～小規模特認校に向けて～

2月18日（金）に開催された第3回CSオール丹那会議において、小規模特認校制度の適用に向けた意見提出書の検討を行いました。函南町教育委員会へ提出することにより、3月15日（火）に行われる函南町総合教育会議の中で諮られ、学区に係る規則が改正される運びです。いよいよ、次年度は各方面から情宣活動を行い、利用保護者説明会などを経て、令和5年度から「Tanna Dream School（小規模特認校）」がスタートします。

これからは丹那小の魅力をどんどん発信して、興味をもっていただくことが重要です。また、制度利用の新生児及び御家族を温かく迎え入れる雰囲気作りも大切です。さらに、丹那学区在住の地域の皆様にも多くの御理解と御協力を仰ぐ必要もあります。保護者の皆様におかれましても魅力あふれる丹那小学校となるよう一層の御協力をお願いいたします。



【卒業証書授与式】

令和4年3月18日（金）
受付 8：15～
授与式 9：00～
見送り 10：30

【修了式】

修了式 11：05～
5校時 13：10～
下校 14：00

【離任式】

登校 7：35～50
離任式 8：15～
見送り 9：00～
下校 9：15

※離任者は分かり次第、メールでお知らせいたします。